

活動報告書

番号

1

【団体の概要】

事業名：初夏のまきの・冬のまきのネイチャーゲーム

団体名：まきのシェアリングネイチャーの会

【活動の概要】

目的：子どもたちへネイチャーゲームなどの自然体験を通し、山・川・海の持つ自然への発見・不思議や地域文化を学ぶことにより、子どもの持つ感性を伸ばし、自然への「気づき」「理解」「行動」など「生きる力」を醸成するきっかけ作りを目的とする。

内容：高知県立牧野植物園の自然を活用し、自然体験のメソッドであるネイチャーゲーム等を実施し、自然を身近に感じる力を育成する。

成果：2つのイベントで、のべ16家族50名(大人29名、子ども21名)の参加を得た。大変満足は9割に達し好評であった。また、こうち山の日推進事業や森林環境税について、リピーターが多くなり「知っている」との回答が多くなり、周知が進んだ。

【プログラム】 初夏のまきのネイチャーゲーム

実施年月日：令和6年6月16日(日)

場所：高知県立牧野植物園

日程:	時間	内容	詳細
	9:30-10:00	受付	
	10:00	開式	主催者挨拶・森の話(森林の役割・森林環境税・こうち山の日推進事業)、スタッフ紹介、諸注意
	10:10	ネイチャーゲーム	アイスブレーキング、フィールドビンゴKIDS、カモフラージュ、目かくしいもむし、思い出いくつ、クールダウン
	11:50	閉式	主催者挨拶、お知らせ、記念写真、アンケート

(備考)

参加人数：大人17名・子供(～17才)13名／外部講師 0名・スタッフ 13名

募集地区：全国 募集対象：家族10組30名

募集方法：高知新聞こみゅつと、各種HP、チラシ配布 参加費等：0円

マスコミ等での紹介例(あれば)：えこらぼHP、日本シェアリングネイチャー協会HP、こみゅつと

感想：

＜参加者＞・今日の自然の中での体験が心地よく、リフレッシュできたと思います。五感を使うことは大変意義があることを感じました。・県外からの参加のため、地元の税の用途を気にしてみます。・家族で楽しく過ごせました。風の音やそよ風が気持ち良かったです。

＜スタッフ＞・1か月前と前日下見で、フィールドの確認やフローラーニングをしっかり考えることができた。・1家族1スタッフの寄り添いは、さりげなくできており、参加者の安心感につながった。また、遅れた家族への対応も、うまくいった。・子どもも大人もを考えるのではなく、年齢関係なく楽しめる企画を望んでいることが分かった。

【プログラム】 冬のまきでのネイチャーゲーム

実施年月日： 令和7年1月19日(日)			
場 所： 高知県立牧野植物園			
日程：	時間	内容	詳細
	9:30-10:10	受付	
	10:10	開式	主催者挨拶・森の話(森林の役割・森林環境税・こうち山の日推進事業)、スタッフ紹介、諸注意
	10:25	ネイチャーゲーム	アイスブレーキング、フィールドビンゴB、カモフラージュ、タッチタッチ、わくわく探検隊、緑の博物館、思い出いくつ、クールダウン
	11:50	閉式	主催者挨拶、お知らせ、記念写真、アンケート
(備考)			
参加人数：	大人10名	・	子供(～17才)9名／外部講師0名・スタッフ12名
募集地区：	全国	募集対象：	家族10組30名
募集方法：	高知新聞こみゅつと、各種HP、チラシ配布	参加費等：	0円
マスコミ等での紹介例(あれば)：えこらぼHP、日本シェアリングネイチャー協会HP、ココハレHP、RKCラジオ			
感想：			
<参加者>愛媛大学地域創生イノベーター育成プログラム内の講義で聞いて参加した。・森林保全のための間伐などの親子体験に参加してみたいです。・自然の中を歩いて感じて、子どもと一緒に過ごせて嬉しかったです。参加された他の親御さんたちの笑顔も優しかった。スタッフの皆様のふれあいありがとうございました。自然の中は、子どももご機嫌でした。			
<スタッフ>・記念館・展示館の屋根修理中で防塵膜が周囲を囲っていること、工事中の騒音がひどいこと、アトリエがすでに予約されており、使用できることなどから、雨天時を中止することが決まった。 だが、天候が安定せず、天気予報とのにらめっこが続いた。実施できたことは幸いである。・参加者で確認の手紙が届いていなかったり、参加確認が不十分な家族がいた。参加者の対応に不備を生じ申し訳なかった。二度とないように努力したい。・リピーターが多かったので、初めてのゲームを取り入れた。例年通りではなく、こちらもプラスアップすることが必要だと分かった。			

活動報告書

番号

2

【団体の概要】

事業名：島ノ川渓谷交流研修会

団体名：島ノ川渓谷等修景緑化推進委員会

【活動の概要】

目的：一般の参加者や委員がいっしょに島ノ川地域の山を散策し交流することが目的であります。

内容：島ノ川渓谷を散策しながら緑化状況を確認したり、川の濁り等を確認したあと、皆様で昼食しながら交流を行いました。

成果：紅葉時期の確認ができたことや川の濁りを確認できたことの他に昼食会で島ノ川渓谷での懐かしい写真をみながら交流できました。

【プログラム】

実施年月日：令和6年11月2日(土)

場所：島ノ川渓谷

日程:	時間	内容	詳細
11 2	9:00	あゆ種苗センターへ集合	
	9:00～10:30	島ノ川渓谷散策	
	10:30～11:30	昼食	

(備考)

参加人数：大人 12 名 ・ 子供(～17才) 名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 1 名

募集地区：高知市・須崎市・中土佐町 募集対象：小学生以上

募集方法：チラシ 参加費等：無料

マスコミ等での紹介例(あれば)：

感想：

＜参加者＞

情報共有できました。雨の渓谷も良かったです。植樹場所や紅葉スポットを教えていただき有難うございました。

＜スタッフ＞

植樹開催から24年立ち島ノ川渓谷は一段と紅葉はじめ木々も大きくなり見ごたえのある島ノ川渓谷になりました。 今回はあいにくの雨で残念でしたが次回に期待しています。

活動報告書

番号

3

【団体の概要】

事業名： 2024ふなと四万十川源流点ウォーキング

団体名： 船戸活性化委員会「四万十川源流点」

【活動の概要】

目的：四万十川源流域の豊かな自然環境の中を地元ガイドと共にウォーキングすることにより、里山の文化と保全活動を理解していただくことを目的とする。

内容：・散策コースの事前整備(古道・木馬道の復元 追合の滝周辺整備
・ウォーキングの実施(満天の星から源流点まで往復16キロ) ・源流点登り口に杖を設置

成果：参加者は当初50人の予定あったが、申込者のキャンセルもあり最終的に29名の参加となる。
今回、源流点登り口に杖を設置し使用していただき「源流点まで上るのに助かった」との声もきかれた。
昼食はせいらんのお弁当ででしたが、活性化委員会でも豚汁を作り喜ばれた。

【プログラム】

実施年月日： 令和6年11月9日(土)

場所： 高知県高岡郡津野町船戸地内 満天の星・四万十川源流点・集落活動センターふなと

日程：	時間	内容	詳細
11月2日		古道整備	
11月9日	8:30	開会セレモニー	満天の星本社駐車場 集合
	8:50	ウォーキング出発	堂海公園出発者 車で移動9:00
	11:00	源流点折り返し	四万十川源流の碑到着
	12:30	昼食	集落活動センターふなとで昼食(お弁当)
	13:30	河内五社神社	秋の例祭津野山古式神楽・船戸花取り踊り鑑賞

(備考)

参加人数：大人 29名 ・ 子供(～17才) 0名 ／ 外部講師 1名 ・ スタッフ 14名

募集地区：高知県内

募集対象：ウォーキング可能な方

募集方法：津野町HP・新聞・チラシ

参加費等：一人2,000円

マスコミ等での紹介例(あれば)：

感想：

＜参加者＞昼食の豚汁がとても美味しかったです。また、ガイドさん、スタッフの皆さんが良くしていただいて良かった。など

＜スタッフ＞今年も予定より参加者が少なかったが、参加者にはそれぞれ楽しまれていたように思う。登山入口に杖の設置をしたのも喜ばれた。

活動報告書

番号

4

事業名：里山整備＆親子自然体験推進事業

団体名：アジロ山の自然と環境を守る会

【活動の概要】

目的：茂った遊歩道の草刈りをボランティアの協力で行い「アジロ自然の森」を訪れた市民が安心して散策できるようにする。遊歩道の修復整備と安全ロープの点検等を定期的に行い、自然にふれる機会を作る。今期も2回の体験イベントを行って、森の素晴らしさや自然環境を守る事の大切さをアピールし、子ども達には森での体験・生き物に出会う等の感動など「5感」を磨き元気になってもらう。

内容：大雨や風で遊歩道に倒れた大木や枯れ木の除去、水で流され荒れた岩場の修復作業をうち森林救援隊に委託して行った。遊歩道の点検補修、茂った遊歩道周辺の草刈り、イベントの前の森の見回り、準備作業はボランティアの協力も得て行った。

10月の森のようちえんは、「ノコギリ体験」を実施。暗くなった場所で選木した木を慣れない手つきで伐木にチャレンジしてもらった。ノコギリ体験の後は、整備した岩場にシャガの花をみんなで植えた。(花の根が強く成長が良い。)午後は「薪割り体験」「ストラップ作り」などの体験を行った。

1月の森のようちえんは、前日に森の見回りと焼きいもの「囲炉裏」を薪で焼き、砂利を温めた。当日は火を見る事の少ない子どもたちと焼き芋準備した後、山に入り落ち葉やブランコで遊んだりツリーハウスに登ったりして「アジロ自然の森」で楽しんだ。下山後、焼き芋を食べ、森の恵である「竹」の素材を使った竹の太鼓やストラップ作りを行った。

成果：遊歩道の定期的な点検・危険な風倒木の撤去、遊歩道の定期的な草刈り作業と森の見回りを行う事で安心して行事が行えた。

うち森林救援隊委託で行った折れた危険な樹木の撤去は素人では到底出来ないもので大変助かった。

身近で樹木の豊かな里山、整備された森の中で「自然体験」をする市民や子ども達が安心して遊べる様になったと感謝の声をいただいている。森の中で自然に触れ、環境を守ることの大切を体感してもらえた。自然にふれる事で感性(5感)も豊かになり子どもが生き生きしてきたなどと参加した親子から喜ばれている。

テレビ高知「がんばれ高知eco応援団」での放映やマスコミ等でも「アジロ自然の森」での活動が紹介され、市民の話題の森になっている。県有地のゴミがなくなり山は市民の「宝の山」に変身した。

【プログラム】

実施年月日：令和6年10月6日(日)

場所：アジロ自然の森 高知市朝倉己1152-24

日程	時間	内容	詳細
	9:30	受付	
	10:00	開会挨拶	参加者にスケジュールと注意事項・スタッフの紹介
	10:10	ノコギリ体験の森に	ノコギリで暗い森の樹木を切る。
	12:00	お昼	整備した岩場にシャガの花を植える
	13:00	薪割り・ストラップ体験を	
	14:00	終了	

<備考>

大人 12名・子供(～17才) 13名／外部講師 名・スタッフ 15名

募集地区：	県下	募集対象：	親子
募集方法：	チラシ・リピーターへのメール等	参加費等：	1歳から大人まで 1人 200円
マスコミ等での紹介例(あれば)：生涯学習センターまなびの場			

感想：

＜参加者＞森林環境税を環境保全に使ったほしい。「子どもが安全に遊べる為に使っていただいている」のなら嬉しいです。今回も楽しかったです。土砂崩れなどを予防する施策を。子どもが積極的に取り組んだり、1人で山を下りたり「チャレンジ」する姿を見ることが出来た。自然に触れて良かった。子どもが下山する時手伝って下さったお兄さんがいて助かりました。焼き芋が美味しかった。楽しかった又来ます。ノコギリ体験が楽しかったです。

＜スタッフ＞

遊歩道に倒れた大木の除去作業は大変だった。風倒木、掛かり木の処理は危険だつた。大雨やイノシシ被害で遊歩道の整備が大変だ。近年の天鳳不純で森が荒れる。草の生長が早く草刈り作業は大変だ。焼き芋は楽しいが参加者分焼くのは大変だ。70個が無事焼けて感動した。砂利をたき火で焼き「芋」を新聞紙に包み水に濡らしてラップで包み熱い砂利石の中にいれ焼く事の大変さと火の恵の有りがたさを体感した。火を見る事の少ない子どもたちに「焼きいも体験」で火の大切さを学んでもらえた。

【プログラム】

実施年月日： 令和6年1月19日（日）

場 所： アジロ自然の森 高知市朝倉己1152-24

日程：	時間	内容	詳細
	9:30	受付	
	10:00	開会挨拶	参加者にスケジュールと注意事項・スタッフの紹介
	10:10	森の散策	みんなで焼き芋の準備
	12:00	お昼	森の散策をして自然体験
		ストラップ作り体験	焼き芋を食べながら昼食
	12:30	終了	

＜備考＞

大人 23名・子供（～17才） 25名／外部講師 名・スタッフ 22名

募集地区：	県下	募集対象：	親子
募集方法：	チラシ・リピーターへのメール等	参加費等：	1歳から大人まで 1人 200円

マスコミ等での紹介例（あれば）：くらしの情報・えこらぼ・生涯学習センターまなびの場

感想：

＜参加者＞焼き芋体験が出来て良かった。お芋の美味しさを初めて知った。焼きいもをしてくれた叔父さんに感謝です。ゆっくりと自然を観察をし山に登り運動でき大満足でした、今日一日親子で外で過ごせて良かった。自然の中に遊具がありブランコで楽しんだ。

＜スタッフ＞

焼きも体験は河原で砂利を取ってきたり囲炉裏を焼いたり前準備が大変だ。70個が焦げずによく焼けた・元気で喜ぶ子どもの顔で苦労を忘れる。ストラップを作りは準備が大変だが喜ばれるとやめれない。

焼きいもの「火」の世話をしたスタッフに感謝です。芋を頬張る子どもが可愛い実施して良かった、して良かった等スタッフの声も。

活動報告書

番号

5

【団体の概要】

事業名： こうち山の日 情報交流館まつり キッズフェス

団体名： 情報交流館ネットワーク

【活動の概要】

目的：森林や自然に関わる団体や個人、また情報交流館の加盟団体が出展や展示、ワークショップ等を行い、日頃の活動をPRするとともに、参加者に森林の大切さ、楽しさを感じてもらい、森に親しみ、自然環境や命を大切にする心を育む事を目的とする。

内容：・森林や木材等に関連した出展や展示、ワークショップ
 ・森林センターの自然を活用した自然体験
 ・地元の特産品などの出店
 ・森の音楽会
 など

成果：子どもとその家族に自然体験、木に関わる事、木使いを周知することができた。また森林ボランティアや地域住民との交流促進にもなり、世代間交流も活発であった。

【プログラム】

実施年月日： 令和6年11月17日(日)

場所： 高知県立森林研修センター 情報交流館

日程：	時間	内容	詳細
	10:00	開会式	森林や自然に関連した物づくり、体験ブースと飲食ブースで構成しました。
	10:30～14:00	バンド演奏	
	15:00	閉会式	

(備考)

参加人数：大人 550名 ・ 子供(～17才) 750名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 127名

募集地区：高知県全域 募集対象：一般

募集方法：小学校・幼保施設へチラシ配布等 参加費等：入場料無料(一部有料)

マスコミ等での紹介例(あれば)：

感想：

<参加者> アンケートから抜粋

小さな子どもを連れてきましたが、楽しく過ごせました。

毎年楽しみにしています。色々なブースがあって大人も子どもも楽しいです。

木の温もりを感じながらゆったりと遊べて良かったです。

駐車場から遠いと案内されましたが木のある道を歩くのが楽しくてあつという間でした。

初めての参加ですが、音楽を聞きながらゆったりと遊んだり、体験したり、食べたりできる雰囲気がとても良かったです！お手軽な価格でいろんな遊びができて良かったです。子どもが帰りましたが、長居しました。

参加したいものが多くて、選ぶのも含めて楽しかったです。

木と触れ合うことが出来て、素晴らしい体験ができました。

教えてくれる方々がみなさん笑顔で優しくて、どの体験も子どもたちが楽しめました。

とっても楽しくて、子どもが木のことを知る良い機会でした。また来たいです。みなさんありがとうございました。

<スタッフ>

自然や森林に関わる体験や工作、遊びなどを出展者、ボランティアの皆さんのが来場された

子ども達、保護者と交流し楽しみながら、学び体験することができるお祭りになりました。

子ども達の笑顔や、また来たいとの言葉が嬉しく励みになる1日でした。

活動報告書

番号

6

【団体の概要】

事業名：ネイチャーゲーム・ネイチャークラフト教室

団体名：高知県シェアリングネイチャー協会

【活動の概要】

目的：近年、こどもたちをめぐる様々な課題が叫ばれているなか、学校や家庭以外にこどもたちが自分自身の存在を確認したり、心優しい仲間づくりができる場所が必要とされています。本会では、子ども達へネイチャーゲーム並びに木使い活動を通して、豊かな自然の恵みや自然への発見・不思議や地域文化を学ぶことにより、子どもの持つ感性を伸ばし、「気づき」「理解」「行動」など「生きる力」を醸成するきっかけ作りを目的とする。

内容：・こうち環境博内で、「落ち葉の窓」「生き物探し」のネイチャーゲームブースを出店。
 ・11月2日～3日一泊二日で、のいち冒険の森周辺を活用しネイチャーゲーム自然学校を実施。
 ・甫喜ヶ峰フェスティバル内で、「クリスマスリース」「カモフラージュ」「森の美術館」などのネイチャークラフト、ネイチャーゲームブースを出店。
 ・キッズフェス内で、「落ち葉の窓」「カモフラージュ」「森の美術館」「ナチュラルツリー」「竹の万華鏡」のネイチャーゲーム・ネイチャークラフトブースを出店。
 ・こうち環境フェア内で、「落ち葉の窓」のネイチャーゲームブースを出店。
 ・保育まつり内で、「落ち葉の窓」のネイチャーゲームブースを出店。

成果：・自然物を活用したクラフトを行う事で森林への関心を高める事が出来ました。
 ・ネイチャーゲームやクラフトを行う事で、こどもたちの発想力や豊かな心と心を育むきっかけづくりが出来ました。

【プログラム】

実施年月日：令和6年7月27日(日)

場所：こうち男女共同参画センター「ソーレ」

日程	時間	内容	詳細
	10:00～16:00	ネイチャーゲーム	落ち葉の窓 いきものさがし 普及啓発活動

(備考)

参加人数：大人 10名 ・ 子供(～17才) 70名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 6名

募集地区：高知県内 募集対象：こども、大人

募集方法：HP,チラシ配布 参加費等：無料

マスコミ等での紹介例(あれば)：

感想：

<スタッフ>

多くの方に楽しんでいただけました。

【プログラム】

実施年月日：令和6年11月2日(土)～11月3日(日)

場所：のいち冒険の森、高知県立青少年センター

日程	時間	内容	詳細
11月2日	9:15	受付	高知駅北口からバスで出発

	10:00 溝渕木材工業着 11:30 県立青少年センターで開校式 12:00 昼食 13:30 アクティビティ 15:10 おやつ 15:50 アクティビティ 17:30 終了	工場見学 木材の切り出しから製材所までの過程を学習 製材所の話、機械見学 木の葉のカルタ取り、種飛ばし、カモフラージュ 竹とんぼ、タッチ＆フィール
11月3日	6:00 (自由参加)朝の散歩、アクティビティ 7:30 朝食 9:20 のいち冒険の森 11:55 アクティビティ 12:00 昼食 14:30 閉校式 高知駅着 解散	音いくつ オリエンテーション あいさつ、注意事項、アイスブレイク 同じものをみつけよう、色いくつ、めざせ名探偵、思い出いくつ
(備考)		
参加人数: 大人 4名 ・ 子供(～17才) 12名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 15名		
募集地区: 高知県内		募集対象: こども、大人
募集方法: HP,チラシ配布		参加費等: こども:5,000円、大人:6,000円
マスコミ等での紹介例(あれば):		
感想: <参加者> また子供同士で泊まりたい。良い思い出ができました。 <スタッフ> 天候が悪く一部予定を変更しましたが、とても良い活動ができました。		

【プログラム】

実施年月日: 令和6年11月10日(日)					
場 所: 高知県立甫喜ヶ峰森林公園					
日程:	時間	内容	詳細		
	10:00～14:00	ネイチャーゲーム ネイチャークラフト	カモフラージュ、森の美術館ほか クリスマスリースづくり 普及啓発活動		
(備考)					
参加人数: 大人 15名 ・ 子供(～17才) 30名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 7名					
募集地区: 高知県内		募集対象: こども、大人			
募集方法: HP,チラシ配布		参加費等: ネイチャーゲーム:無料、クラフト:500円			
マスコミ等での紹介例(あれば):					
感想: <参加者> 自然の物でクラフトが出来るのが楽しい。 <スタッフ> リースづくりの参加者は少なめでしたが、ネイチャーゲームは多くの方に楽しんでいただけました。					

【プログラム】

実施年月日： 令和6年11月17日(日)			
場 所： 情報交流館			
日程：	時間	内容	詳細
			落ち葉の窓、カモフラージュ、森の美術館 ナチュラルツリー、竹の万華鏡 普及啓発活動
(備考)			
参加人数：大人 70名 ・ 子供(～17才) 103名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 6名			
募集地区：高知県内		募集対象： こども、大人	
募集方法：HP,チラシ配布		参加費等： ネイチャーゲーム：無料、クラフト：200円	
マスコミ等での紹介例(あれば)：			
感想： <スタッフ> 多くの方に楽しんでいただけました。			

【プログラム】

実施年月日： 令和7年1月13日(月・祝)			
場 所： 高知市弥右衛門ふれあいセンター			
日程：	時間	内容	詳細
			落ち葉の窓
(備考)			
参加人数：大人 16名 ・ 子供(～17才) 76名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 2名			
募集地区：高知県内		募集対象： こども、大人	
募集方法：HP,チラシ配布		参加費等： 無料	
マスコミ等での紹介例(あれば)：高知新聞、がんばれ高知エコ応援団			
感想： <スタッフ> 多くの方に楽しんでいただけました。			

【プログラム】

実施年月日： 令和7年1月26日(日)			
場 所： 城西公園			
日程：	時間	内容	詳細
			落ち葉の窓
(備考)			
参加人数：大人 10名 ・ 子供(～17才) 54名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 3名			
募集地区：高知県内		募集対象： こども、大人	
募集方法：HP,チラシ配布		参加費等： 無料	
マスコミ等での紹介例(あれば)：			
感想： <スタッフ> 多くの方に楽しんでいただけました。 風が強く、野外活動は大変でした。強風によりタープが破損しました。			

活動報告書

番号

7

【団体の概要】

事業名：ネイチャーゲーム・ネイチャークラフト教室
団体名：甫喜ヶ峰森林公園ネイチャーゲームの会

【活動の概要】

目的	近年、こどもたちをめぐる様々な課題が叫ばれているなか、学校や家庭以外にこどもたちが自分自身の存在を確認したり、心優しい仲間づくりができる場所が必要とされています。本会では、子ども達へネイチャーゲーム並びに木使い活動を通して、豊かな自然の恵みや自然への発見・不思議や地域文化を学ぶことにより、子どもの持つ感性を伸ばし、「気づき」「理解」「行動」など「生きる力」を醸成するきっかけ作りを目的とする。
内容	・自然体験活動(環境教育)プログラムであるネイチャーゲームを実施。 また、木を使ったどうぞのいすづくり教室で、木材が利用できるまでの学習や、野外でのピザづくり、畑でさつまいもの収穫体験、花炭作りを行った。 ・南国市土曜市で、木のペンダント、竹の万華鏡づくり、クリスマスリース、門松、ランプシェードづくりのネイチャークラフトブースを出店した。
成果	・ネイチャーゲームアクティビティ体験により自然への理解と関心を高める事が出来ました。 ・木のどうぞのいすづくりを通して木に触れ木についての学びが深りました。 ・自然物を活用したクラフトを行う事で、森林への関心を高め、こどもたちの発想力や豊かな心を心を育むきっかけづくりができました。

【プログラム】

実施年月日：令和6年6月23日(日)

場所：長岡郡本山町本山 アウトドアビレッジ本山、帰金山公園

日程	時間	内容	詳細
	10:00～11:00	ネイチャーゲーム	カモフラージュ、森の美術館
	11:00～12:30	木工クラフト	絵本の読み聞かせ、どうぞのいすづくり

(備考)

参加人数：大人 17名 ・ 子供(～17才) 15名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 10名

募集地区：高知県内 募集対象：こども、大人

募集方法：HP、チラシ配布等 参加費等：参加費100円/人 材料費2,000円/組

マスコミ等での紹介例(あれば)：

感想：

＜参加者＞

子供も大人も楽しめました。期待以上のイベントでした。

＜スタッフ＞

時間が超過しましたが、参加者には満足いただけたと思います。

【プログラム】

実施年月日：令和6年7月7日(日)

場所：香美市土佐山田町 県立甫喜ヶ峰森林公園

日程	時間	内容	詳細
	9:00	集合	
	9:30	開会	開会あいさつと注意事項
	9:50	ピザづくり・仕込み	

10:20	ネイチャーゲーム I	フィールドパターン
11:00	ピザづくり・仕上げ	トッピング～焼入れ
	昼食	
13:00	クラフトづくり	ナチュラルツリー
13:30	ネイチャーゲーム II	森の美術館、音いくつ、サイレントウォーク
15:00	終了	終わりのあいさつ

(備考)

参加人数: 大人 8名 ・ 子供(～17才) 9名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 9名

募集地区: 高知県内

募集対象: こども、大人

募集方法: HP、チラシ配布等

参加費等: 参加費500円/人 幼児: 無料

マスコミ等での紹介例(あれば): がんばれ高知エコ応援団

感想:

<参加者>

期待以上でした。楽しい1日でした。

<スタッフ>

根抽象対策に苦慮しました。内容を変更し日中の畠作業は中止しました。

【プログラム】

実施年月日: 令和6年8月17日(土)

場 所: 南国市大堀 土曜市

日程:	時間	内容	詳細
	10:00～14:00	ネイチャークラフト	木のペンダントづくり 竹の万華鏡づくり

(備考)

参加人数: 大人 3名 ・ 子供(～17才) 3名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 5名

募集地区: 高知県内

募集対象: こども、大人

募集方法: HP、チラシ配布等

参加費等: 参加費200円/個

マスコミ等での紹介例(あれば):

感想:

<参加者>

子供も大人も楽しめました。期待以上のイベントでした。

<スタッフ>

参加者が少なかったですが、参加者には喜んでいただいたと共に地域の活性化協力出来て良かったと思います。

【プログラム】

実施年月日: 令和6年8月24日(土)

場 所: 南国市大堀 土曜市

日程:	時間	内容	詳細
	10:00～14:00	ネイチャークラフト	木のペンダントづくり 竹の万華鏡づくり

(備考)

参加人数: 大人 3名	・ 子供(~17才) 4名	／ 外部講師 名	・ スタッフ 3名
募集地区: 高知県内	募集対象: こども、大人		
募集方法: HP、チラシ配布等	参加費等: 参加費200円/個		
マスコミ等での紹介例(あれば):			
感想:			
<参加者> クラフト教室は子供が気軽に出来て良いと思います。			
<スタッフ> 参加者が少なかったですが、参加者には喜んでいただいたと共に地域の活性化協力出来て良かったと思います。			

【プログラム】

実施年月日: 令和6年8月25日(日)
場 所: 長岡郡本山町本山 アウトドアビレッジ本山、帰金山公園
日程: 時間 内容 詳細
10:00～11:00 ネイチャーゲーム カモフラージュ、森の美術館
11:00～12:30 木工クラフト 絵本の読み聞かせ、どうぞのいづくり
13:00～14:00 ネイチャーゲーム カモフラージュ、森の美術館
14:00～15:30 木工クラフト 絵本の読み聞かせ、どうぞのいづくり
(備考)
参加人数: 大人 10名
・ 子供(~17才) 14名
／ 外部講師 名
・ スタッフ 7名
募集地区: 高知県内
募集対象: こども、大人
募集方法: HP、チラシ配布等
参加費等: 参加費100円/人 材料費2,000円/組
マスコミ等での紹介例(あれば):
感想:
<参加者> かわいいイスが作れてとても良い体験が出来ました。
<スタッフ> 時間が超過しましたが、参加者には満足いただけたと思います。

【プログラム】

実施年月日: 令和6年10月27日(日)
場 所: 香美市土佐山田町 県立甫喜ヶ峰森林公園
日程: 時間 内容 詳細
9:00 集合
9:30 開会
焼き芋・花炭仕込み
開会あいさつと注意事項
10:40 作業開始
いもほり、イモ茎採取
12:00 昼食
焼き芋、イモ茎試食
13:00 クラフトづくり
落ち葉アート、字書き虫アート、花炭アート
13:30 ネイチャーゲーム
こうもりとガ、雲見、音いくつチューニング、季節からの招待状
14:20 終了
終わりのあいさつ
(備考)

参加人数: 大人 16名	・ 子供(～17才) 21名	／ 外部講師 名	・ スタッフ 8名
募集地区: 高知県内	募集対象: こども、大人		
募集方法: HP、チラシ配布等	参加費等: 参加費500円/人 幼児:無料		
マスコミ等での紹介例(あれば):			
感想:			

＜参加者＞

外で焼き芋のやり方を初めて体験出来て子供にとって良い経験になりました。

＜スタッフ＞

スタッフも多く、安全面や様々なプログラムがスムーズに実施出来ました。

【プログラム】

実施年月日: 令和6年11月23日(土)			
場 所: 長岡郡本山町本山 アウトドアビレッジ本山、帰全山公園			
日程:	時間	内容	詳細
	10:00～11:00	ネイチャーゲーム	カモフラージュ、森の美術館
	11:00～12:30	木工クラフト	絵本の読み聞かせ、どうぞのいづくり
	13:00～14:00	ネイチャーゲーム	カモフラージュ、森の美術館
	14:00～15:30	木工クラフト	絵本の読み聞かせ、どうぞのいづくり
(備考)			

参加人数: 大人 10名

・ 子供(～17才) 7名

／ 外部講師 名

・ スタッフ 10名

募集地区: 高知県内	募集対象: こども、大人
募集方法: HP、チラシ配布等	参加費等: 参加費100円/人 材料費2,000円/組

マスコミ等での紹介例(あれば):

感想:

＜参加者＞

楽しかった。

＜スタッフ＞

クラフトの時間が1時間30分かかるので、次回からは計画段階で時間を確保するように話し合いました。

【プログラム】

実施年月日: 令和6年12月14日(土)			
場 所: 南国市大堀 土曜市			
日程:	時間	内容	詳細
	10:00～14:00	ネイチャークラフト	クリスマスリースづくり ランプシェードづくり
(備考)			

参加人数: 大人 10名

・ 子供(～17才) 6名

／ 外部講師 名

・ スタッフ 3名

募集地区: 高知県内	募集対象: こども、大人
募集方法: HP、チラシ配布等	参加費等: 参加費500円/個、200円/1個

マスコミ等での紹介例(あれば):

感想:

＜スタッフ＞

参加者が少なかったですが、参加者には喜んでいただいたと共に地域の活性化協力出来て良かったと思います。

【プログラム】

実施年月日： 令和6年12月21日(土)			
場 所： 南国市大塙 土曜市			
日程	時間	内容	詳細
	10:00～14:00	ネイチャークラフト	ミニ門松づくり 500円/1個、300円/1個 ランプシェードづくり
(備考)			
参加人数： 大人 14名 ・ 子供(～17才) 5名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 2名			
募集地区：高知県内		募集対象： こども、大人	
募集方法：HP、チラシ配布等		参加費等： 参加費500円/個、300円/1個	
マスコミ等での紹介例(あれば)：			
感想： <参加者> 子供が森林に親しめるイベントは、大変ありがとうございます。 <スタッフ> 参加者には喜んでいただいたと共に地域の活性化協力出来て良かったと思います。			

【プログラム】

実施年月日： 令和6年12月28日(土)			
場 所： 南国市大塙 土曜市			
日程	時間	内容	詳細
	10:00～14:00	ネイチャークラフト	ミニ門松づくり 500円/1個、300円/1個 ランプシェードづくり
(備考)			
参加人数： 大人 14名 ・ 子供(～17才) 5名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 4名			
募集地区：高知県内		募集対象： こども、大人	
募集方法：HP、チラシ配布等		参加費等： 参加費500円/個、300円/1個	
マスコミ等での紹介例(あれば)：			
感想： <参加者> 子育て支援センターで講座をしてもらいたいです。 <スタッフ> 参加者には喜んでいただいたと共に地域の活性化協力出来て良かったと思います。			

活動報告書

番号

8

【団体の概要】

事業名： 甫喜ヶ峰フェスティバル2024

団体名： 一般社団法人 高知県山林協会

【活動の概要】

目的：街の人に森林や自然に興味を持つもらうため

内容：森林や木に関する体験コーナー等を地元、関係団体、ボランティア団体等に設置してもらい、来園者に体験してもらう

成果：繁藤災害に関するブースや南国警察署、香美市消防本部の協力を得て、災害への知識の普及に貢献できたと思う。また、(株)とされいほくによる樹木伐採デモンストレーションは、子ども達に森林への興味をもってもらう良い機会の提供ができたと思う。

【プログラム】

実施年月日： 令和6年11月10日(日)

場所： 県立甫喜ヶ峰森林公園

日程	時間	内容	詳細
10:00	開会式	山林協会副会長挨拶、出店者紹介	
	・樹木伐採デモンストレーション	重機を使った樹木伐採のデモンストレーションと乗車体験((株)とされいほく)	
	・煙ハウス体験 ・AED使用体験 ・心肺蘇生体験 ・消火体験	煙ハウスや心肺蘇生法などの体験を通して、何かあったときの対処方法を学ぶ機会を提供(香美市消防本部)	
	・白バイ乗車体験	白バイ乗車体験を通して、災害や事故について考えてもうきかっけの提供(南国警察署)	
	・昆虫標本づくり体験	スズメバチなど珍しい昆虫も含めた標本づくりを体験でき、生き物から自然に関心を持つてもらえるコーナーとして実施。(舟木翔一)	
	・スラックライン体験	スラックライン体験に挑戦しながら、自然を満喫してもらった(トサ・スラックライン)	
	・紙などを使ったクラフト作り体験	牛乳パックグライダー、パタパタ飛行機、ストローベンボ、マツボッククリーさん、紙のブレスレット、木のブローチ、パスタのリース作りなどができる体験コーナー(盛さんご夫婦)	
	・自作ペットボトル風車で発電体験	ペットボトルで風車を作製し発電について学習するコーナー。ま(高知県公営企業局)	
	・流木クラフト体験	室戸の海の流木を利用したクラフト作り体験(室戸青少年自然の家)	
	・ネイチャーゲーム体験 ・リース作り体験	ネイチャーゲームをしたり、クリスマスリース作りを体験してもらった。(甫喜ヶ峰森林公園ネイチャーゲームの会)	
	・木工教室	木の端材を使って自由にクラフトを作製(有志)	

	・繁藤災害写真等展示	繁藤災害の写真や新聞等の展示(有志)
	・飲食物販売	山菜やうどん、フランクフルト、焼き菓子、コーヒー、唐揚げなどの販売(繁藤婦人防火クラブ、まいにちのおやつZUZU、なまだ、キッチンカー、地元有志)
14:00	閉会式	山林協会常務挨拶、片付け

(備考)

参加人数: 大人 約580名 ・ 子供(~17才) 約390名 ／ 外部講師 3名 ・ スタッフ 6名

募集地区: 高知県下全域	募集対象: どなたでも
学校中心にチラシ配布、ホームページ 募集方法: 掲載、Facebook・Instagram掲載、出店 団体によるSNSでの広報活動	参加費等: 各ブースにて支払い

マスコミ等での紹介例(あれば): RKCラジオ高知子育て応援団

感想:

〈参加者〉

楽しかった。知名度を上げるべき。小さな子どもが体験できる内容だと参加しやすい。など

〈スタッフ〉

今年は小さな子どもはいたが、昨年同様小学生がほとんど来ていないので、日程変更したほうがいいのではないか。

活動報告書

番号

9

【団体の概要】

事業名: Trail Jamboree in 甫喜ヶ峰 2024

団体名: 一般社団法人 高知県山林協会

【活動の概要】

目的: 園内に設けたコースを走ることで、自然に触れ、その大切さや保全について関心を高めてもらう

内容: 6km、リレー、キッズの3コースを設け、それぞれのコースを走ることで自然を楽しむ

成果: 走るというスポーツを通して、森林や自然に触れ合い、心身をリラックスさせ、森林や自然の良さや大切さに気付いてもらえたと思われる。

【プログラム】

実施年月日: 令和6年12月8日(日)

場所: 県立甫喜ヶ峰森林公園

日程:	時間	内容	詳細
前日まで		準備(名簿・表彰等準備)	受付名簿、賞状、配布物等準備
		準備(コース設置)	ロープ張り、危険個所注意看板設置、物品等配置
12 8	7:00	交通誘導	
	8:30	受付	名簿チェック、ゼッケン・副賞・食券・リストバンド配布
	9:20	開会式	挨拶、注意事項等説明
	9:30	6kmスタート	各所でスタッフが立哨、中間・最終にスタッフが伴走
	11:00	6km表彰式	男女各1~3位に賞状・副賞・手作り木のメダル授与
	11:15	リレースタート	3人1チーム(2km/人)、たすきでリレー 各所でスタッフが立哨
	11:30	昼食提供	カレー、サラダ、ゼリー、ミカン
	12:15	リレー表彰式	男子1~3位、女子1~2位、男女混合1~3位、親子1位(女子は2チームのみ参加、親子は1チームのみ参加)に賞状・副賞授与、各1位チーム3人に手作り木のメダル授与
	13:00	キッズA-1スタート	小学1~3年生(スタッフ先導・最終伴走) 各所でスタッフが立哨
	13:20	キッズA-2スタート	小学4~6年生(スタッフ先導・最終伴走) 各所でスタッフが立哨
	13:40	キッズBスタート	未就学児(スタッフ先導、その他スタッフ・保護者で誘導・立哨)
	13:50	キッズ表彰式	A-1・2・B各1~3位に賞状と副賞授与、参加者全員に手作り木のメダル授与
	14:00	閉会式	
		片付け	※今年は全コースとも計測は業者にしてもらい、結果はwebで、完走証もwebからダウンロード

(備考)

参加人数: 大人 93名 ・ 子供(~17才) 47名 ／ 外部講師 4名 ・ スタッフ 6名								
募集地区: 高知県下全域		募集対象: どなたでも						
募集方法: 甫喜ヶ峰森林公园HP、Facebook、 JapanReg・みなみえるHP、高知新聞ミ リカ			参加費等: 6km: 3,000円 リレー: 3,000円(1チーム) A-1・2: 1,500円 B: 1,000円					
マスコミ等での紹介例(あれば):								
感想: <参加者>他の大会と違ってアットホームなのが楽しい。 <スタッフ>今まで参加者だった人が講師やボランティアとして協力してくれたり、ランナーで保護者の方が子ども達のコースで立哨してくれたりと、参加者と一体になって運営できるようになったのがありがたい。								

活動報告書

番号

10

【団体の概要】

事業名：幡多山もりフェス2024

団体名：幡多山もり実行委員会

【活動の概要】

目的：会場で実際に木材に触れ、木の良さを直に体験してもらい山仕事に興味を持ってもらう。山の仕事や森林環境税及び森林環境贈与税を使った補助制度などを幡多の森林組合がPRしていくことにより林業を身近に感じてもらい、木材産業の活性化のきっかけを作っていく。

内容：林業機械の乗車体験、山の○×クイズ、山で働く人のお話し、山仕事紹介冊子配布、ヒノキの子供椅子製作、木のくつき虫おもちゃ、丸太輪切りの時計などのワークショップ、かんなくずダイブ滑り台。またのこぎりを使っての丸太切り体験。

成果：来場者には、普段見る機会のない林業機械を間近で見たり搭乗の体験をしてもらうことができた。また木のおもちゃや、かんなくず滑り台等、遊べるブースではたくさんの親子が楽しく遊んでおり、笑顔がとても印象的であった。ワークショップでは体験や、素材の良さを感じられるとてもいいイベントである等、好感触である声が多数あり、大盛況がありました。

【プログラム】

実施年月日：令和6年11月10日(日)

場所：四万十市四万十川左岸河川敷

日程	時間	内容	詳細
11/26	10:00	開会式	来賓祝辞
	10:30	各ワークショップ開始	ヒノキの子供椅子製作、かんなくずダイブ滑り台、くつき虫おもちゃ、木の時計
	15:00	閉会式	閉会の挨拶
	15:05	お菓子投げ	

(備考)

参加人数：大人 800名・子供(～17才) 500名／外部講師 名・スタッフ 25名

募集地区：高知県内 募集対象：一般

募集方法：ポスターの掲示・SNS 参加費等：入場無料(ワークショップは無料または要参加費)

マスコミ等での紹介例(あれば)：幡多管内保育所・小学校にチラシ配布、ココハレ(高知新聞社)他

感想：

〈参加者〉 楽しいイベントを、これからも続けて下さい。とても楽しかったです。林業機械の実演があればいいなと思いました。久しぶりの開催で楽しみにしていた。体験型のイベントでとても楽しめた等。

〈スタッフ〉 イベントの最中や終了後にたくさんの方から「楽しかった」「ありがとうございます」という声を聞いた。かんなくずや、木に触れている子供たちの楽しそうな顔が印象的でした。1歳児のお母さんから、「木の椅子を作りました。帰ってからも「トントントンしたね～」「これに座る～」、何をするにも木の椅子に喜んで座っています。」と、思いが少し伝わった気がしました。これからも、木に触れること、感じること等と共に、森林組合だからこそできるイベントとして精進していきます。

活動報告書

番号

11

【団体の概要】

事業名：森のフィールドワーク

団体名：杜の聲

【活動の概要】

目的：森林体験を通じて自然の成り立ちを知り、新しい気候風土に根差した文化を目指すヒントとする。

内容：●野草などに詳しい講師とともに里山近辺を散策する(ボタニカルアート写生、野草採取など)
●竹の器やお箸入れづくり、工作ワークショップ ●マルシェにて、自然素材を活かしたものを販売

成果：ボタニカルアートでは自然を感じることの喜びや大切さを再認識して頂けた。日本画についての講義もあり、自然の鉱物から作られる塗料の奥深さを感じていただけたのではないかと思う。竹工作では一見廃材置き場のようなところから材料を選んでいただき、自分の作品へと昇華させることで、創造することの楽しみと新たなものの視点を受け取っていただけたのではないかと思う。

【プログラム】

実施年月日：令和6年10月5日(土)

場所：『いとなみ舎』高知県土佐清水市津呂26-1

日程：	時間	内容	詳細
10 5	10:00	集合・開催説明	
	10:30	作業	竹の特性や道具の使い方の説明、竹の選定・加工
	12:00	昼食	講義：色のお話など、草花の選定、作画
	13:00	作業	作品制作
	15:00	終了	作品発表、アンケート、写真撮影、感想シェア

(備考)

参加人数：大人 17名 ・ 子供(～17才) 2名 ／ 外部講師 2名 ・ スタッフ 4名

募集地区：指定なし

募集方法：SNS、チラシ、掲示板、口コミ

マスコミ等での紹介例(あれば)：

感想：

<参加者>じっくり、ゆっくりと何事も味わってゆったりとした時間でした。知らない事がしれてとても幸せです。

<スタッフ>参加者の皆さんの中から集中力が素晴らしい、休憩と作業の緩急が心地よく感じられる、そんなイベントでした。

活動報告書

番号

12

【団体の概要】

事業名：森に触れてと出会いづくりと想い出づくり第3弾

団体名：特定非営利活動法人 四万川龍神の里

【活動の概要】

目的：地元の自然のすばらしさ、大きさを広め認識する。都会では体験できない田舎ならではの交流を楽しむ

内容：①活動拠点に通じるアクセス道路の整備・草刈りを通じて、自然の豊かさを体感してもらう。
②自然の森の間伐、薪づくりを教える。
③地元の「百一草園」で、珍しい蜂(ブルービー)とキレンゲショウマの観察
④ペンキを塗る経験をしてもらう。

成果：外部からの参加者は、少なかったが来て頂いた方には喜んでもらえた

【プログラム】

実施年月日：令和6年7月28日(日)

場所：樋原町中ノ川

日程	時間	内容	詳細
7月20日	9:00～12:00	事前準備	スタッフ3名で草刈り等
7月28日	10:00～	木を切る。草引き	木を切り、薪をつくる 草引き、草刈り
	12:00～	昼食 歓談	
	13:00～	百一草園に移動	ブルービー。キレンゲショウマ観察

(備考)

参加人数：大人 2名 ・ 子供(～17才) 名 / 外部講師 1名 ・ スタッフ 9名

募集地区：地域住民(県外者OK) 募集対象：どなたでも

募集方法：チラシ、Facebook 参加費等：無料

マスコミ等での紹介例(あれば)：

感想：

<参加者>

楽しくかったです。もう少しピーアール(周知)した方が良いです。勿体ないです。

<スタッフ>

自然木をチェンソーで切るのをまじかで見る機会は地元の者でも珍しく、勇壮な姿でした。もっと宣伝をしていたら林業に興味をもってもらえたかもと反省でした。ブルービーは、気候変動の為に1ヶ月後でした。

【プログラム】

実施年月日：令和6年11月9日(土)

場所：樋原町中ノ川

日程	時間	内容	詳細
10月27日	10:00～14:00	事前準備	スタッフ7名で整備作業
11月9日	11:00～	整備作業	ペンキ講師のもと鳥居を塗る、白玉砂利をひく
	12:00～	昼食 歓談	

13:00～	植樹	赤松
14:00～	お茶会	
14:00	終了	

(備考)延期して実施(グリーンウッドワークは中止)

参加人数: 大人 6名 ・ 子供(～17才) 4名 ／ 外部講師 1名 ・ スタッフ 5名

募集地区: 地域住民(県外者OK) 募集対象: どなたでも

募集方法: チラシ&インスタグラム 参加費等: 無料

マスコミ等での紹介例(あれば):

感想:

<参加者>

ペンキを塗ることもしたこともなく楽しかった。

<スタッフ>

2週間ぶりのイベント、天気にも恵まれ参加者の喜んでもらいホットとしました。本年の反省点を踏まえて来年は宣伝にも力を入れて行きたいと思います。

活動報告書

番号

13

【団体の概要】

事業名： こうち山の日 ちくりん講座＆イベント
 団体名： 高知県地球温暖化防止活動推進員の会

【活動の概要】

目的：森林保全の意義や竹林が果たす温暖化防止の役割について知り、竹や木製品を日常生活に取り入れることを県民に提案するための知識や助言方法を得る。
内容：講座前半の座学では、県内の森林や竹林の現状と救援隊による整備活動について学び、後半は竹材の小物づくりを体験した。また、午後からは推進員自ら竹材の加工と啓発方法について話し合い、イベントに向けた準備を行った。
成果：・竹林保全に関する知識と、竹材の活用・加工方法を学び、クイズとワークショップの準備ならびに実施体制を整えることができた。 ・こうち環境博2024の来場者数：838人 ものづくり体験（プレスレット、カップホルダー）参加者：60人 ・よってたかって香美市でエコの来場者数：233人 ものづくり体験（プレスレット、カップホルダー）参加者：40人

【プログラム】

実施年月日： 令和6年7月6日（土）
場所： こうち男女共同参画センター 2階 創作実習室
日程： 時間 内容 詳細
9:00～10:00 講座準備
10:00～12:00 ちくりん講座 森林・竹林講座、竹材加工体験
13:00～16:00 イベント準備 クイズの内容とワークショップ見本作成等イベント準備、打ち合わせ
16:00～17:00 後片付け
（備考）
参加人数：大人 10名 ・ 子供（～17才） 1名 ／ 外部講師 3名 ・ スタッフ 2名
募集地区：高知県内
募集対象：高知県地球温暖化防止活動推進員ほか関心のある県民
募集方法：全推進員に案内郵送、メールマガジン、環境博チラシへの掲載
参加費等：無料
マスコミ等での紹介例（あれば）：
感想： <参加者>アンケートより抜粋 環境イベントへの出展に向け、竹林保全の重要性や、その分かりやすい伝え方について考えることができた。こうち森林救援隊の皆さんの熱心で親近感のあるお話でとても分かりやすく、楽しく勉強になった。 <スタッフ>竹林の整備の必要性について放置竹林写真等の資料で現状を知り、資源としての特性を知ることができた。また、CO2吸収源としての竹林の機能が理解できたため、今後の推進員の活動に活かせる内容であった。

【プログラム】

実施年月日： 令和6年7月27日（土）
場所： こうち男女共同参画センター 3階 大会議室
日程： 時間 内容 詳細
9:00～9:50 準備
10:00～16:00 問題です！ちくりんワークショップ クイズ、ゲーム、ものづくり体験、竹製品の展示
16:00～17:00 後片付け

(備考)	
参加人数: 大人 10名	・ 子供(~17才) 50名
募集地区: 高知県内	募集対象: こうち環境博2024への来場者
募集方法: WEBサイト、FB、メールマガジン、チラシ	参加費等: 無料
マスコミ等での紹介例(あれば):	
感想: <参加者>アンケートより抜粋 竹をこんな感じで再利用するのはよいと思った。子どもの良い勉強になった、またやってほしい。 <スタッフ>ものづくり体験では、竹の輪材料が早々に無くなってしまったが、クイズやゲームで大人から子どもまで楽しく学んでもらえた。	

【プログラム】

実施年月日: 令和6年7月28日(日)					
場 所: 香美市立図書館「かみーる」つながるーむ					
日程:	時間	内容	詳細		
	9:00～10:15	準備			
	10:30～15:00	問題です！ちくりんワークショップ	クイズ、ものづくり体験、竹製品の展示		
	15:00～16:00	後片付け			
(備考)					
参加人数: 大人 15名					
・ 子供(~17才) 25名		／ 外部講師 0名	・ スタッフ 4名		
募集地区: 香美市		募集対象: よってたかって香美市でエコへの来場者			
募集方法: WEBサイト、メールマガジン、チラシ		参加費等: 無料			
マスコミ等での紹介例(あれば):					
感想: <参加者>やはり自然の素材はいいですね。昔、家にこんな竹の道具がありました。 <スタッフ>出展者同士で体験や情報交換ができ、今後のイベント企画に活かせそうだと思った。ものづくり体験やクイズで大人から子どもまで楽しく学んでもらえた。					

活動報告書

番号

14

【団体の概要】

事業名:	「横倉山の自然観察ツアー」開催事業
団体名:	高知県森林インストラクター会

【活動の概要】

目的

特徴的で豊富な植物が分布する横倉山の自然観察登山を通じて、広く一般県民に対して森林の機能、生態をわかりやすく伝えることにより、こうち山の日の制定趣旨である森林の重要性について理解を深めることを目的として開催した。

内容

4億年以前のシルル紀に形成された蛇紋岩質の横倉山は、植物の種類が豊富で、世界的植物学者である牧野富太郎博士が足しげく通い、多くの新種を発見した山としても有名である。また、修験道の靈場として栄え、平家落人伝説も残る山で、安徳天皇伝説「御潜幸物語」をはじめ、「安徳水」と呼ばれる水場、安徳天皇陵墓参考地、天皇の避難所とされる平家穴などがある。この行事では、トレッキングガイドの案内で周辺の樹木やきのこなどを観察しながら登山を楽しむことで、森林に対する理解を広く深めていただくことができた。



開会挨拶、留意事項



ガイドによる巨木の説明



杉原神社の歴史解説



植生解説



集合写真

成果

当日観察できた植物は132種類(うち、トレッキングガイドによるもの55種類、会員スタッフの調査によるもの77種類)であり、参加した県民に広く自然に親しむ機会を提供することができた。

■観察植物

【ア行】

アオツヅラフジ、アカガシ、アカメガシワ、アキノキリンソウ、アキノチヨウジ、アセビ、アラカシ、アブラチャシ、イノデ、イヌシデ、イロハカエデ、イワシデ、イワタバコ、ウメガサソウ、ウツギ、ウラシマソウ、ウラジロ、ウラジロガシ、ウリカエデ、ウリハダカエデ、エゴノキ、エビヅル、エンコウカエデ、オオツヅラフジ、オオモミジ、オンツツジ

【カ行】

カシワバハグマ、カジ、カナメモチ、カワラハシノキ、カタヒバ、カナメモチ、ガマズミ、カマツカ、カンサイスノキ、キエビネ、キッコウハグマ、キシツツジ、キバナアキギリ、キンミズヒキ、クサマオウ、クロガネモドキ、クマシデ、ケクロモジ、ケヤキ、コウヤボウキ、コウヤマキ、コガクツツギ、コシダ、コショウノキ、コチヂミザサ、コツクバネウツギ、コツクバネガシ、コナラ、コバノガマズミ、コバノハナイカダ、コバンノキ、コブシ、コメツツジ、コバノガマズミ

【サ行】

サカキ、サネカズラ、サルトリイバラ、サンカクヅル、サンショウ、シキミ、シシガシラ、シロダモ、シャクジョウソウ、シリブカガシ、シンジソウ、スギ、セリバオウレン、ゼンマイ

【タ行】

タカノツメ、タニジャコウソウ、タブノキ、タラノキ、タラヨウ、チャノキ、ツガ、ツゲ、ツクバネガシ、ツルリンドウ、テツカエデ、トウシュロ、トサジョウロウホトギス

【ナ行】

ナガバノモミジイチゴ、ナツハゼ、ナンテン、ヌスピトハギ、ネズミモチ、ネムノキ、ノグルミ、ノブキ、ノブドウ

【ハ行】

ハイノキ、ハナイカダ、ハリギリ、ヒサカキ、ヒツバ、ヒノキ、ヒメユズリハ、フジキ、フタリシズカ、フユイチゴ、ホゾバタブ、ホオノキ

【マ行】

マタタビ、マルバウツギ、ミズメ、ミツマタ、モミ、モミジガサ

【ヤ行】

ヤダケ、ヤブコウジ、ヤブツバキ、ヤブニッケイ、ヤブムラサキ、ヤブレガサ、ヤマウルシ、ヤマガキ、ヤマグワ、ヤマザクラ、ヤマノイモ、ユキモチソウ、ユズリハ、ヨコグラノキ

【ラ行】

ラカンマキ、リョウブ、リンボク

【ワ行】

ワジュロ、ワラビ

【プログラム】

実施年月日： 令和6年10月6日(日)

場 所： 越知町 横倉山

日程：	時間	内容	詳細
	7:45 8:00	集合 出発	出発(県民文化ホール)
	9:30	現地到着	到着(横倉山第3駐車場)、趣旨、注意事項説明
	9:45～14:00	ツアー (昼食含む)	横倉山登山(昼食、休憩含む) (杉原神社→横倉宮→馬鹿試し→安徳天皇陵墓参考地)
	14:15	現地出発	出発(横倉山第3駐車場)
			振り返り、アンケート
	16:00	到着	到着、解散(県民文化ホール前)

参加人数： 大人25名 ・ 子供(～17才)2名 ／ 外部講師2名 ・ スタッフ4名

募集地区： 県内全域 募集対象： 一般(3時間程度の登山が可能な方)

募集方法: 高知県森林インストラクター会ホームページ ジ、FBへの掲載、県内施設等への配布	参加費等: 無料
マスコミ等での紹介例(あれば): なし	
感想:	
<p><参加者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物だけでなく歴史文化についても知ることができた良かった。 ・ヨコグラノキ(牧野先生の)を見ることができてうれしかった。 ・歩く距離やハードさが丁度良かった。 ・大満足だったので、近いうちに自分で横倉山に登りたい。 ・季節を変えてお願いしたい。 ・自分だけで来ていたら判らなかったことを、たくさん教えていただき勉強になった。 ・木にプレートがあり樹木名が判るようになっていたので、是非また来て勉強したい。 ・横倉山の歴史等を学ぶことができた。 ・事前の準備や下見が入念にできていた。 ・時間に十分な余裕があり、横倉山を堪能することができた。 ・配布していただいた植物リストが非常に参考になった。 ・トレッキングガイド2名とスタッフ講師が丁寧に説明してくれた。 ・歩きやすかったので景色を良く見ながら散策できた。 ・自然観察バスツアーを継続して企画して欲しい。 <p><スタッフ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高木が多く葉の特徴が観察しにくいのが難点である一方で樹種ごとの樹形を習得する事ができる。 ・念入りな準備により充実した内容で開催することができた。 	

活動報告書

番号

15

【団体の概要】

事業名： 第2回KONAN TRAIL～お塩と羽尾とやすらぎトレイル～

団体名： 一般社団法人 香南市観光協会

【活動の概要】

目的：①香南市夜須町羽尾を通る土佐塩の道と大釜荘・長谷寺周辺の美しい自然、海から山へのロケーションを知り体験していただく。
 ②参加者及び開催地域の皆さんとの交流を増やし、香南市の地域振興や活性化を図る。
 ③香南市の特産品、拠点のヤ・シィパーク、大釜荘・長谷寺を多くの方にPRする。

内容：一般社団法人香南市観光協会(事務局)は、これまで11回続いた土佐塩の道トレイルランニングレースを実施し、土佐塩の道30kmうおーく等のイベントに参加しています。昨年に続き、ヤ・シィパークを拠点に夜須町羽尾を通る土佐塩の道を活用したトレイルランニングレースを開催します。

成果：長谷寺歴史の道地図に掲載されている古道・香南市夜須町の山と海をつなぐ塩の道徳善往還を知っていただき、「トレイルランニング」として体験し、夜須町羽尾の景観・豊かな自然・森林についてより身近に感じてもらつた。また、往来がなくなってしまった往還道を整備し参加者が走ることで、道を蘇らせることができた。大会前には夜須町羽尾の山に足を運んでいただき、森林体験をしていただけた。

【プログラム】

実施年月日： 令和6年10月6日(日)

場所： 香南市(大会会場：ヤ・シィパーク、コース：香南市夜須町の山と海をつなぐ往還道とその周辺地域)

日程	時間	内容	詳細
6:45		駐車場会場	ヤ・シィパーク芝生広場スタート→手結内港→真行寺
7:00～7:40		装備品チェック	→大峰山(轟神社)→宝田神社→夜須北部クリーンセンター→星神社→林道城山・羽尾線 境木の碑→羽尾峠→大釜の滝→大釜荘→表参道三十三観音の道→
7:45		ブリーフィング	長谷寺観音堂折返し→展望台「そらこや」→塩炊地蔵
8:00		レーススタート	様(塩の道・徳善往還)→海津見神社→夜須川沿い→
14:00		表彰式	ヤ・シィパーク芝生広場フィニッシュ
16:30		フィニッシュ制限時間	

(備考)

エントリー：240名
 (県内183名、県外
 参加人数：54名、外国籍3名)
 出走者数：215名
 完走者数：203名
 完走率：94.4%

募集地区：全国	募集対象：18歳以上の競技規則・参加誓約書に同意していただける方
募集方法：HPやSNSにて告知しジャパンレグによるオンライン受付	参加費等：10,000円

マスコミ等での紹介例(あれば)：高知新聞(10/7)

感想：

<参加者>

- ・試走した時に比べコースは走りやすくなつており、多くの労力をかけていただいたのがわかりました。
- ・初めてのトレイル大会だったので滝へ向かう細い道が落ちそうで怖かつた。大会の全体的な感想としては、参加料が安いのにプレゼントやWSが充実していてとてもお得感がある大会だったと思います。トレイル以外に県外のトライアスロンやマラソンに参加しているが、こんなにエイドやプレゼントが充実している大会はあまりないので、もっと県外の方にアピールした方がいいと思いました。
- ・高知県では少ないトレイルの大会なので是非続くことを願っています。見どころたくさんコースで面白かったです。

〈スタッフ〉

今回、初めてスieberをさせて頂き、選手としての目線ではなくスタッフ側からの目線を体験できました。
みんなが楽しんで欲しいといった思いの詰まった大会だと感じました。これからも回を重ね更に楽しんで頂ける大会になるよう微力ながら、お手伝いしたいと思います。

活動報告書

番号

16

事業名：林業映画祭2024

団体名：林業女子会@高知

【活動の概要】

目的：森林をテーマにした映画の鑑賞と森林体験を通して、林業への関心を持ってもらう。

内容：・森林をテーマにした映画の上映

・森林体験(森林浴、薪割り、丸太磨き、チェンソー実演、焚火)

・木製品、飲食等の販売

成果：・伝統的な林業を描いた映画作品の上映に加え、映画に登場する「北山杉」の丸太磨き体験を行つたことで、より深く映画のテーマを印象付けることができ、木に触れる体験を提供することができた。

・今年は他地域のイベントが重なったことから、参加者は昨年よりやや少ない印象であったが、親子連れや女性グループなどが長い時間滞在し楽しんでいた。広く県内や香川県などから集客できた。

・今年もイベントに向けた森林整備を事前に実施し、より安全で見晴らしの良くなった林内で、森林浴体験を楽しむ人が多く見られた。一過性のイベントではなく、毎年回を重ねるごとにフィールドとなる森林の整備が進んでいくのがこの林業映画祭の価値の1つである。

・チェンソーの実演では、その場で丸太を切って椅子を作り、参加者に利用してもらうことができた。

・物販や飲食店の出店者が昨年より増え、より多様な層の集客をすることができた。特にワークショップの出店では、森林の植物を使ったスワッグづくりや、ヒノキのかんくすを使ったクラフトなど、森林や木に触れる体験も提供できた。

・薪割り体験は特に好評で、長い時間没頭する参加者も現れ、大人から子供まで楽しむことができた。

【プログラム】

実施年月日：令和6年11月9日(土)

場所：大心劇場及び周辺

日程	時間	内容	詳細
	10:00~/14:00~	映画「古都」上映	映画の上映
	10:00~/17:00	森林体験、物販	森林浴(周辺山林)、薪割り体験、丸太磨き体験、 チェンソー実演(野外ステージ)、焚火体験、物販 を随時行った。

(備考)

参加人数：大人 51名・子供(～17才) 5名／外部講師 名・スタッフ 6名

募集地区：主に高知県内

募集対象：高知県内外の一般市民

募集方法：チラシ配布、SNS発信、インスタグラム広告

参加費等：映画鑑賞料大人1,000円、大学生500円

マスコミ等での紹介例(あれば)：高知新聞に取材記事掲載(11/10)

【プログラム】

実施年月日：令和6年11月10日(日)

場所：大心劇場及び周辺

日程	時間	内容	詳細
	10:00~/14:00~	映画「古都」上映	映画の上映
	10:00~/17:00	森林体験、物販	森林浴(周辺山林)、薪割り体験、丸太磨き体験、 チェンソー実演(野外ステージ)、焚火体験、物販 を随時行った。

(備考)	
参加人数: 大人 58 名 ・ 子供(~17才) 3 名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 5 名	
募集地区: 主に高知県内	募集対象: 高知県内外の一般市民
募集方法: チラシ配布、SNS発信、インスタグラム広告	参加費等: 映画鑑賞料大人1,000円、大学生500円
マスコミ等での紹介例(あれば):	
感想:	
〈参加者〉	
<ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラムが充実していてよかった。レトロな映画館での映画を楽しむことができた。 ・森林率の高い高知県と中芸地域で、いろいろな機関が連携して行う、とてもいい事業だと思います。 ・普段は家でおもちゃで遊ぶのはつまらないと言っている子供たちが、山の中では生き生きとして、何度も森の中を歩いて面白いと言っていた。 ・森の木陰の下でのイベントで、ほっこりできました。いろんな出店があり楽しめました。チェンソーでのパフォーマンスや丸太磨きも面白かったです。 	
〈スタッフ〉	
<ul style="list-style-type: none"> ・森林に触れられ、林業に触れられ、楽しい心地いい、森と人をつなぐ素晴らしいイベントだと思います。 ・現代社会では自然に触れたり、身体を動かしたりする機会は減る一方なので、人間性を失わないためにもこのようなイベントは貴重だと感じます。 ・今後も大心劇場の森で、林業映画祭で得た知見をいかしたイベントを開催していきたい。 	

活動報告書

番号

17

【団体の概要】

事業名：竹炭焼き＆焚火クッキング

団体名：花咲製炭

【活動の概要】

目的：山の再生を目的とした竹炭作りを料理と組み合わせることで楽しく体験してもらう。

内容：高知の山の現状を伝えるとともに、竹林整備の際に間伐した竹を用いてポーラス炭を作り山の再生活動を行う。また、炭作りの際の焚火を活用したパン作りを行い、環境保全活動に興味を持ってもらう。

成果：複数の参加者から「また参加したい。」と、環境保全活動への参加を前向きに捉える意見をもらえた。また、お土産の炭の活用方法などの質問をいただき日常へつながる可能性を感じられた。

【プログラム】

実施年月日：令和6年1月11日(土)

場所：木の駅ひだか

日程	時間	内容	詳細
	10:00	あいさつ・紙芝居	高知の自然や炭についての紙芝居
	10:30	竹切り・食器作り	のこぎりを使って竹を切り、自分の食器を作る
	12:00	炭焼き・パン焼き	焚き火による竹炭作りと竹巻きパンを作つて食べる

(備考)

参加人数：大人 5名 ・ 子供(～17才) 3名 ／ 外部講師 1名 ・ スタッフ 3名

募集地区：高知市周辺

募集対象：親子連れ

募集方法：当会SNS、ぐるっとママ高知、えこらぼメルマガ 参加費等：1人500円

マスコミ等での紹介例(あれば)：暮らしの情報、12/16RKCラジオエコエコアカルト

感想：

＜参加者＞とても楽しかったです。森林の勉強もできて、初めての竹でパン作りもおもしろかったです。／火起こし、パン焼き、焼き芋など子供が大変喜びました。大人の私自身も焚火を体験することができて楽しめました。／今日のような、おやこで参加できるイベントがあればまた参加したいです。

＜スタッフ＞これまでのイベントで最年少の幼児の参加は緊張したけれど、怪我なく無事に終えられ、何より楽しんでもらえてよかったです。／自分達も楽しかったので、またやりたいと思う。／自然に興味があつたり、プランターや畑での農業を楽しんでいる人とつながることができて嬉しい。

活動報告書

番号

18

【団体の概要】

事業名：森で野鳥の巣を観察・営巣地を作つてみよう。

団体名：公益社団法人生態系トラスト協会

【活動の概要】

目的：・野鳥たちの巣を観察して野鳥の増える環境を作り、森の生物多様性の損失を食い止め回復させる。
 ・繁殖環境の減少により準絶滅危惧種となっているアカショウビンとヤマセミ用の特殊巣箱の設置に挑戦する。

内容：・貸切バスで保護区の森に出かけ、野鳥が繁殖に使つた巣を観察した。
 ・ヤマセミの営巣環境として不可欠な露出した土の崖や自然崩落した山の環境は、人間への安全対策によりネットが張られるなどで営巣環境が失われている。また、巣穴を作る途中で石にぶつかると作るのをやめてしまうので、石や木が混入していない土崖の営巣環境を人工的に作った。
 ・アカショウビンは蜂の古巣を利用した事例があるので、スズメバチの巣を加工して設置した。

成果：ヤマセミ用の営巣崖地を整備したほか、寄贈された直径60センチのキイロスズメバチの古巣を木製巣箱に収納し、樹木に設置した。
 観察小屋から谷川を挟んだ対岸にあるので、アカショウビンが利用するようになると、観察や写真撮影もできるようになると期待している。
 (会報誌森のしずく149号の表紙に写真と解説を掲載して紹介した。)

【プログラム】

実施年月日：令和6年10月19日(土)

場所：四万十町大正地区

日程	時間	内容	詳細
10 19	9:00～ 9:30～ 15:30～ 16:00	開会あいさつ、自己紹介、説明 貸切バスで保護区の森へ移動 自然観察 巣箱かけ ネイチャーセンターへ移動 まとめの学習、閉会あいさつ 解散	・ヤイロチョウが利用した巣の観察 ・ヤマセミ用営巣崖の説明、学習 ・森の中あらかじめ製作したスズメバチの古巣を利用した巣箱を樹木の上に釣り上げて設置

(備考)

参加人数:大人 8名・子供(~17才) 7名／外部講師 0名・スタッフ 4名

募集地区:高知県内 募集対象:親子

募集方法:メール、チラシ配布 参加費等:無

マスコミ等での紹介例(あれば):10月3日高知新聞

感想:

<参加者>アンケートより抜粋

ヤイロチョウの巣が地面の上にあったことに驚きました。ヤマセミ等の鳥の巣も観察することができてとても楽しかったです。みんなで試行錯誤しながら巣箱を設置する貴重な体験をありがとうございました。野鳥はあまり見れませんでしたが、色々な人や植物、知識との出会いがあつて楽しかったです。ヤイロチョウが住んでいる周辺にはアカショウビン、ヤマセミ、カワセミ等色々な生き物が住んでいるのでいつまでもこの豊かな自然を守っていきたいです。巣箱を掛けたり、野鳥保護に参加した感が良かった。鳥のみではなく四季の身近な生物の観察会を行つてほしいと感じました。理由は地域の生物の種類が分かればより良い自然に対する解像度が上がると感じました。

<スタッフ>夏にかけたヤイロチョウ巣を案内すると巣がそのまま残っていたので見てもうことができました。観察路にヒキガエルを発見し子どもたちがとても喜んだ。ヤマセミ用の営巣崖に土を盛り準備した。また、アカショウビン用巣箱を(箱の中にスズメバチの巣を置く)を参加者で木の上に設置することができ苦労したがみんなの力で設置でき大変良かった。

活動報告書

番号

19

【団体の概要】

事業名： 池川植樹祭 2024

団体名： 池川森業環境部

【活動の概要】

目的：多様な落葉広葉樹で構成される森づくり

内容：人工林の皆伐跡地に、ヤマザクラ、センダン、イロハモミジ、サルスベリ、クヌギ、トチノキ、サワグルミ、ケヤキの8種を植栽。これらが母樹となり、適地に適木が生育し天然の森に返っていくことを期待

成果：ボランティア17名により落葉広葉樹8種を植栽

【プログラム】

実施年月日：	令和6年12月7日(土)		
場所：	仁淀川町池川コミュニティセンター、人工林の皆伐跡地		
日程：	時間	内容	詳細
	9:00～ 30分程度	植栽方法や周辺情報の説明他	植栽方法や植栽現場を取り巻き環境の説明。来賓挨拶。
	10:00～ 1時間程度	植栽	山中に移動して8種の落葉広葉樹を植栽
	11:30～ 30分程度	意見交換	山林所有者のコメント、参加者一同との意見交換

(備考)

参加人数： 大人12名 ・ 子供(～17才)4名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ1名

募集地区：限定なし 募集対象： 限定なし

募集方法：HPからの誘引、チラシの貼付/配布 参加費等： なし

マスコミ等での紹介例(あれば)：

感想：

<参加者>木を植えることは楽しかった/当日スムーズに作業できたのは事前準備をしっかりしていたから。主催者に感謝/継続的に様子を見にきたい

<スタッフ>毎年実施していきたいが、実施地の確保が難しいと感じている。伐採も自分でやっていく必要があるかもしれないが、チェーンソーでの伐倒や搬出など、生命の危険がありボランティアでやっていける作業ではない。さまざまな課題あり

活動報告書

番号

20

【団体の概要】

事業名: 大月の製炭学習と里山への植栽活動

団体名: 大月町備長炭生産組合

【活動の概要】

目的: 製炭体験、ウバメガシの植栽、ウォーキングやドングリの収穫体験をすることにより、町内外の方に自然に親しんでもらい、山林や地域産業の理解を進めるとともに、地域内外の交流を促進する。

内容: 製炭体験、ウバメガシの植栽、ウォーキング、どんぐり拾い、苗木づくり

成果: 地元の児童生徒を中心に多くの関係機関の方々に参加をいただき、過去最高の参加人数となった。より多くの方に山の資源を循環させる取り組みについて触れていただくことができた。

【プログラム】

実施年月日: 令和6年11月11日(月)

場所: 大月町西泊地区 町有林

日程:	時間	内容	詳細
	9:00	開会	
	10:00~	ウォーキング	山の新鮮な空気を吸いながらのウォーキング
	10:15~	ウバメガシのお話	特徴や植生等の話
	10:30~	植栽	苗木の植栽
	13:00~	炭窯見学	原木や備長炭の見学
	14:00~	苗木づくり	拾ったドングリをコンテナに植える
	16:00	終了	

(備考)

参加人数: 大人41名 ・ 子供(~17才)16名 / 外部講師1名 ・ スタッフ 8名

募集地区: 県内 募集対象: 県内の小中高生・県民

募集方法: 町内各戸へのチラシの配布、FB等での告知 参加費等: 大人1,000円、小学生以下500円

マスコミ等での紹介例(あれば):

感想:

〈参加者〉高校生のお兄ちゃんが優しく手をつないで山道を歩いてくれて嬉しかった。木を植える時も優しく教えてくれました。

〈スタッフ〉小学生から大人まで多数の参加者でした。昨年、大きな受賞をされたこともあり、備長炭組合の活動は年々注目度が高くなっている現れではないかと思われます。今後も継続してほしいですね。

活動報告書

番号

21

【団体の概要】

事業名： 県鳥60周年記念新春アニマルランドとヤイロチョウの森を結ぶ自然観察バスツアー
 団体名： 公益社団法人生態系トラスト協会

【活動の概要】

目的：飼育下と野生のヤイロチョウの生態について学ぶ。

内容：アニマルランドでヤイロチョウの学習など。焼き芋。ヤイロチョウの営巣地見学。記念植樹。

成果：アカショウビンの巣箱見学やアメゴ養魚池の観察、記念植樹を行った事により生物多様性の保護と森への理解が深まった。ヤイロチョウの生態を学習ブックを使って解説したので、わかりやすいと感想が出ていた。また、ヤイロチョウやヤマセミ、アカショウビン、ブッポウソウなどの繁殖地を実際に見ることができ、夏の観察への期待が高まった。さらに、外来種サンジャクについて、周知することができ、小鳥類の危機を実感していただいた。

【プログラム】

実施年月日： 令和7年1月4日(土)

場所： わんぱーくこうちアニマルランド及び四万十町大正地区

日程	時間	内容	詳細
1 4	9:00	わんぱーくこうち ゲート前集合 わんぱーくこうち アニマルパークで学習	飼育員よりヤイロチョウの学習、サンジャクの学習
	10:00	バス出発	バスでヤイロチョウの森へ
	12:00	昼食	車内でヤイロチョウの生態についての話 ヤイロチョウの森で昼食、焼き芋
	13:00	営巣地見学	巣箱や養魚池の観察
		記念植樹	講師指導のもと山さくら1本(中型)の植樹
	14:50	ネイチャーセンター	まとめ学習
	15:20	バス出発	
	17:30	解散	

(備考)

参加人数：大人 21名・子供(～17才) 6名／外部講師 1名・スタッフ 3名

募集地区：高知県、高知市内小学校、関西

募集対象：親子、一般

募集方法：メール、チラシ配布

参加費等：無(芋代500円)

マスコミ等での紹介例(あれば)：

感想：

<参加者>アンケーから抜粋

飼育下ではありましたが、ヤイロチョウをこの目で見て感動しました。ヤイロチョウの保護活動がされている四万十の地を歩いてみて、空気にもまわりの自然にも触れ楽しい1日となりました。県の鳥ということしか知りませんでしたが、渡り鳥で非常に希少性の高い鳥だということがわかりました。カエルの死骸などと体になすりつけたりして臭いを消し、敵に見つかりにくくするなど生き延びるために工夫しているところが賢いと思いました。ヤイロチョウが住みやすい環境をいつまでも維持していく責任があると思います。ヤイロチョウ保護の為に尽力してくださっている皆様に感謝です。クマタカに守られて巣をつくっていることや生態系がなりたないとヤイロチョウが見れなくなってしまうことをみんなに伝えていたいなと思いました。何十年ぶりに食べた焼き芋美味しかったです。山桜の花が咲くのが楽しみです。

<スタッフ>

天気に恵まれ予定したイベントが実施できた。ただし焼き芋は風が強く落ち葉で焼くことが出来なかった事が残念。

活動報告書

番号

22

【団体の概要】

事業名：「デノモノ×ヨソモノ 山の学習＆草刈り講習会」

団体名：高知県青年団協議会

【活動の概要】

目的：土佐市地域おこし協力隊・大学生・高知県内高校生を対象・連携し、若者が山に関心を持ち・関わるきっかけづくりを目的とする。

内容：高知県内における森の学習と、若い世代もノウハウとして取り掛かりしやすく、また地域づくりに関わる手段となる「草刈り」を実地研修として行う。

成果：山の学習や、土佐市新居の地形についての学習後に、実際に山中の津波避難経路を歩きながら、山の果たす役割や恩恵について学ぶことができた。また、ノウハウとして移住者の方々とコミュニケーションを取りながら草刈りを学ぶことができたのも良かった。

【プログラム】

実施年月日：令和6年11月30日(土)

場所：土佐市新居

日程	時間	内容	詳細
	13:00	●オープニング * こうち山の日推進事業及び 高知県森林環境税の説明 * 新居地域の山と防災について * 草刈りと地域づくりについて	場所：土佐市くらしネットワーク事務所 講師：松岡善郎さん(防災会長) 講師：土佐市青年団
	14:00	●移動	
	14:30	●実践 * 山の実態について * 草刈り実演 →刈った草で焼き芋	→山の津波避難路を歩きながら学習 講師：土佐市青年団・春野町青年団
	15:00	●エンディング * 振り返り	場所：土佐市くらしネットワーク事務所
	16:00	終了	

(備考)

参加人数：大人10名・子供(～17才) 0名／外部講師 3名・スタッフ 4名

募集地区：土佐市近郊

募集対象：土佐市近郊の若者・移住者

募集方法：口コミ、SNS

参加費等：無料

マスコミ等での紹介例(あれば)：

感想：

<参加者>

- ・普段暮らしている地域と山との関係性や親和性を学ぶことができた。
- ・草刈りを学ぶことで、地域に入りやすくなると知った。自分でも刈払免許を取得したいと思う。

<スタッフ>

- ・参加者が少なかったことが残念だが、その分参加者同士は密の濃い学びや交流の機会になった。
- ・土佐市の海岸沿いは、山を活用して避難路をつくっている場所が多くある。自分たちも「防災と山」という視点でまだまだ学ぶ必要があると感じた。

活動報告書

番号

23

【団体の概要】

事業名：あたごもりん

団体名：林業女子会@高知

【活動の概要】

目的：林業体験をしたり、樹木に触れたりして、「林業」を知ってもらう。

内容：・林業体験(ツリーカラーミング、伐倒体験)とチェンソー実演

・樹木に触れる体験(丸太切り体験→クリスマスオーナメント作り、薪割りなど)

・木工製品の販売等

成果：ツリーカラーミングに21人参加、重機の操縦体験や丸太切りや伐倒体験等を幼児から小学生、大人の方まで高知市愛宕町の方を中心に多く参加していただいた。また、町内会の方が出店の出店をしていただき、愛宕山に良い空気が流れたと感じる。また、RKCの方の取材があった。

【プログラム】

実施年月日：令和6年12月8日(日)

場所：高知市 愛宕神社

日程	時間	内容	詳細
	10:00	開始	
	11:00～12:00	ツリーカラーミング1部	6名
	12:15～12:45	伐倒実演＆体験	・チェンソーや林業についての話 ・小学生を中心に20名くらい参加し、伐倒実演後ロープをみんなで引っ張ったり、木の片づけを行った
	13:00～14:00	ツリーカラーミング2部	6名
	14:30～15:30	ツリーカラーミング3部	9名
	随時	ペンダント・オーナメント作り・重機操縦体験	
	16:00	終了	

(備考)

参加人数：大人 50名・子供(～17才) 40名／外部講師 4名・スタッフ 13名

募集地区：愛宕町・秦小学校地区・高知市

募集対象：こどもからおとなまで

募集方法：チラシ・インスタグラム・ビラ配り等

参加費等：ツリーカラーミング1人500円、木のペンダント300円

マスコミ等での紹介例(あれば)：RKC がんばれエコ応援団

感想：

＜参加者＞近くに神社があることは知っていたが初めて来た。どれも初めての体験が多く子どもも大人も楽しめた。

別の職業の事が見れたり、重機に初めて乗る体験ができたりして新鮮だった。今後も続けてほしい。など

＜スタッフ＞未就学児や小学生の層が多く、イベントの目的とマッチしていたと思う。逆に中学生や高校生にも楽しんでもらえるイベントにする余地もありそう。保護者向けの椅子やレジャーシートなどがあると良い。

普段子どもと交流する機会がないので、かわいくて楽しかった。街中に住んでいると、自然と触れる機会が少ないので、こうした目木育のイベントで今後も子どもたちが楽しんできれたら幸い。

活動報告書

番号

24

【団体の概要】

事業名: 『杜人』上映会及び工作ワークショップ

団体名: 杜の聲

【活動の概要】

目的: 映画を通じて人と自然との関わり方に思いを巡らし、近年頻発している自然災害といわれているものに対する認識を再考するきっかけにして頂く。

内容: ●映画の上映会、上映後感想シェア会
●竹工作ワークショップ(葉・付箋づくり)

成果: 頻発している土砂災害の多くが人の行為により引き起こしたことであるということを、映画を通じて確認していただけた事と思います。またその後の感想シェア会で、まずは自分の手の届く範囲から今できることをやっていきたいとの感想が多く聞かれ、参加された皆さんの中に、受け身ではなく能動的、自発的に自然に働きかけていこうという意識が生まれたように感じました。

【プログラム】

実施年月日: 令和6年11月10日(日)

場所: 『海ギャラ』 高知県土佐清水市竜串23番8号

日程:	時間	内容	詳細
11 10	11:00	ミニマルシェ及びワークショップ開始	一組当たり30分程度、竹の選択、道具の使い方、加工の仕方などその都度ワークショップを行う
	15:00	ミニマルシェ及びワークショップ終了	
	16:00	『杜人』上映会開始	アンケート
	18:00	感想シェア会	上映会場にて円形になり、感想をシェア
	19:30	終了	

(備考)

参加人数: 上映会 大人11名・子供2名
ワークショップ 大人9名 / 外部講師 1名 · スタッフ 4名

募集地区: 指定なし

募集対象: 指定なし

募集方法: SNS、チラシ、掲示板、口コミ

参加費等: 上映会 500円 WS 100円

マスコミ等での紹介例(あれば):

感想:

〈参加者〉じっくり、ゆっくりと何事も味わってゆったりとした時間でした。知らない事がしててとても幸せです。

〈スタッフ〉参加者の皆さんの集中力が素晴らしい、休憩と作業の緩急が心地よく感じられる、そんなイベントでした。

活動報告書

番号

25

【団体の概要】

事業名：ひのみこアウトドアフェス2024

団体名：株式会社ラフディップ

【活動の概要】

目的：日ノ御子河川公園キャンプ場は香美市の美しい自然を体験できる場として、年間を通して県内外から多くの人が訪れます。その清流と香北の自然を楽しみ、感謝するイベントを行い、多くの人に香美市の魅力と森林（自然）の魅力を感じてもらうことを目的とする。

内容：【ひのみこアウトドアフェス2024】

香美市香北町の自然を活かした、アウトドアイベントとマルシェと音楽のイベント。

【アクティビティ】

- ボルダリング（河川公園内の自然の岩を利用し、ボルダリング体験）
 - SUP（物部川の雄大さ、湖面から森や木々を眺めながら、ダムや森林について考える）
 - パックラフト（物部川の雄大さ、湖面から森や木々を眺めながら、ダムや森林について考える）
 - スラッグライン（河川公園内の木々を使って実施。森の中で過ごす楽しさを感じるとともに、体感を鍛える）
 - マウンテンバイク（林業と輪業で高知の森を元気に！のキーワードで活躍する道願CYCLEが森林内をライドしながらガイド）
 - ブッシュクラフト（能登半島沖地震、8月の南海トラフ臨時情報などにより、防災への関心が高まる中、CAMPスキル×防災の視点のもと、防災アドバイザーによるブッシュクラフト（火おこし体験とジップロックでの蒸しパン作り））
 - ロープクライミング（香美市消防有志チームによるロープワークによる木のぼり体験）
- 専門のインストラクターのガイドのもと、指導を受けながら安全に実施する。

【マルシェ】

■スイーツ、フード、ドリンク、リラクゼーション、クラフトなど25の出店

今回は中でも物部川グリーンウッドワーククラブに参加してもらい、グリーンウッドワークのデモンストレーションを披露してもらい、こうち山の日事業としてより充実した内容になった。

【びらふマルシェとのコラボレーション】

香北町のアンパンマンミュージアム前芝生広場で行う「びらふマルシェ」と同日開催とし、日ノ御子キャンプ場で行う、アウトドアフェスの両会場をボンネットバスで結び、バス内にはボランティアのバスガイドさん2名に搭乗してもらい、香北町の魅力や両イベントの開催の思い、やなせたかしの故郷であること、小中学校の取り組みなどをお話ししながら、約15分の香北の旅を楽しむ

【ひのみこ一斉清掃活動】

関係団体との日程調整がついてず、現状では未実施。

今年度中の実施を予定している。

成果：専門のインストラクターのガイドのもと、指導を受けながら安全に実施し、多くの方に参加いただき、香美市の自然の魅力、アウトドアの楽しさを伝えることが出来たと思う。
地域の自然資源を活かした観光商品造成への足掛かりとしたい。

【プログラム】

実施年月日：2024年10月27日（日）

場所：高知県香美市香北町西峯59 日ノ御子河川公園キャンプ場及び周辺

日程	時間	内容	詳細
10/27	7:00	スタッフ集合	イベント当日準備
	7:30-9:00	出店者搬入	
	10:00	イベント開始	パックラフト3、サップ2、サイクル3、ボルダリング4

15:00	イベント終了	
15:30	出店者搬出と会場片付け	
17:00	片付け終了	

(備考)

参加人数: 大人 400名 ・ 子供(~17才) 400名 ／ 外部講師 23名 ・ スタッフ 14名

募集地区: 県内全域	募集対象: 幼児～大人
募集方法: チラシ配布(香美香南南国の中学校、香美市幼保、出店者への配布依頼、市内各所)、SNS、高知新聞ミニゅっと	参加費等: 入場無料(実費のものあり)

マスコミ等での紹介例(あれば):

感想:

＜参加者＞アンケートより抜粋

毎年来ている！楽しみにしている。来年も楽しみ！毎年新しいお店、アクティビティが増えていてとても楽しい。食べ物が美味しい！家族で楽しめた。川が気持ちよかったです。子どもたちがいっぱい楽しめた。楽しいイベントを企画してくださりありがとうございます。ボルダリング、スラックライン楽しかった！体験系のブースも少し多めにお願いします！

＜スタッフ＞出店者アンケートより抜粋

- ・イベントの内容、出店者さんの顔ぶれ、運営、どれもとてもよかったです。ボンネットバスがつなぐ試みも良かったです。
- ・大人も子供も楽しく遊べて、キャンプ場の雰囲気と自然も一緒に味わえる素晴らしいイベントでした。
- ・今回は複数の大型イベントに重なったことが、1番の集客低下の要因だと思います。そのため、来年はその他イベントの日程も鑑みながらイベント日を選定すると良いと思います。
- ・大イベントを継続して盛り上がりを続けていくのは本当に大変だと思いますが、一緒に考えてやっていきますのでみんなでがんばりましょう！

【アクティビティ講師 23人】

(パックラフト3、サップ2、サイクル3、ボルダリング6、ロープクライミング7、ブッシュクラフト1、スラックライン1)

【運営スタッフ 14名】

活動報告書

番号

26

【団体の概要】

事業名： 秋の防災植物教室[野山の実りをたのしもう]の開催

団体名： 日本防災植物協会

【活動の概要】

目的：防災植物を通じて、日頃森林に接する機会が少ない人たちに環境保全などについて興味を持ち理解を深めてもらう

内容：“防災植物とは「山野に自生する植物の中から、災害時食料難になった時でも、安全で簡易に食べられる植物」と定義している。災害時は食の確保が重要であるが、木の実にはエネルギーが豊富に含まれているために、食べられる木の実の知識を持つことも重要である。年間で季節に応じて体験型「防災植物教室」を開催し、自然や環境保全に興味をもってもらうことを目的とした活動をしている。

成果：食べられる木の実の観察、学習、試食を通じて、森林や山に興味を持ち守り育てることの大切さに気づいてもらうことができた。

【プログラム】

実施年月日： 令和6年12月1日(日)

場所： 四万十ふれーばー*ボウサイショクヅツカフェ

日程:	時間	内容	詳細
12 1	13:30	開会	野外での注意など
	13:45	野外観察	周辺の植物と木、木の実観察
	14:20	学習	展示してある食べられる木の実の説明
	15:00	簡単調理と試食	銀杏、シイ炒り、パッククッキングムカゴご飯
	16:00	閉会 アンケート	

(備考)

参加人数：大人 17名 ・ 子供(～17才)8(うち未就学児3)名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 7名

募集地区：高知県近隣

募集対象：子供からシニアまで

募集方法：チラシ、SNS,HP

参加費等：大人1000円(会員無料) 小学生500円

感想：

＜参加者＞シイを食べるのがはじめてで美味しいでびっくりした。むかごご飯、どんぐりクッキーなども美味しいで、食べられる木の実が近くにたくさんあることを知った。

＜スタッフ＞みなさんが楽しそうに参加してくださってよかったです。実際に食べてみることで、木や植物などの自然が身近に感じてもらえたと思う。

活動報告書

番号

27

【団体の概要】

事業名：森に生息する希少な野鳥の餌場環境を整備して観察スポットを作つてみよう。

団体名：公益社団法人生態系トラスト協会

【活動の概要】

目的：希少な野鳥と水辺に生息する生物の関わりを学べる環境を作る。またヤマセミが巣をつくる崖とアカショウビンが巣をつくる樹上のスズメバチの巣を観察する場所を整備する。アメゴの在来種を増やすいけすを設置し、小魚をねらうカワセミが飛来する場所を造る。

内容：保護区の森に設置したアカショウビンやヤマセミなどの希少な野鳥の営巣環境に、彼らが餌場として利用可能なアメゴやサワガニなどが生息できる水辺作りを行う。会員から使用しなくなった養魚池を寄付していただき、事前に沢から水を引く工事を業者に依頼して準備した。観察小屋を整備し、生態系学習の場所を確保する。

成果：養魚池を作った。須崎市からFRP製の5m×2.3mの養魚池をトラックで下道に移設し、参加者が周辺を岩やこけで囲い古い倒木を運んで魚の棲み処を作った。繁殖が終わってもエサを食べにくる野鳥の様子を見ることができ、小高いところから見下ろすように観察小屋があり、生態系の学習に役立つことができるようになった。また、在来種のアメゴの復活という大きなテーマに育つて令和7年度の新事業に結びついたとも大きな成果となつた。ユンボなど土木の力を借りないとできない事業には二の足を踏むところがあったが、新たな一步を踏み出すことができた。四万十高校から参加された3名のうち1名は、1/4に実施するバッターチアの添乗員をボランティアで引き受けてくれた。

【プログラム】

実施年月日：令和6年12月14日(土)

場所：四万十町大正地区

日程:	時間	内容	詳細
12 14	10:00～10:30	開会挨拶、講師紹介、日程確認	ネイチャーセンター集合
	10:30～11:00	保護区の森へ移動	大正田野々から下道地区へ移動
	11:00～12:00	作業開始	養魚池の周りに石やコケを配置した。
	12:00～13:00	休憩	下道・森の番小屋に移動、昼食・交流
	13:00～15:00	作業開始	養魚池の中に倒木を配置、観察小屋の整備
	15:00～15:30	移動、閉会式	ネイチャーセンターで解散

(備考)

参加人数：大人 2名・子供(～17才) 3名／外部講師 1名・スタッフ 2名

募集地区：高知県内 募集対象：中学生以上

募集方法：メール、チラシ配布 参加費等：無

マスコミ等での紹介例(あれば)：

感想：

<参加者>

久しぶりにノコギリを使っての作業等なかなか力仕事で大変でしたが出来上がってみると良い雰囲気になり良い物が作れたなど感じました。まわりにコケを敷くことで自然に近い感じに出来たと思いました。

<スタッフ>ユンボやトラックを使った作業は安全確保のため行事前に終了させたため参加者は安全に参加できた。観察小屋が老朽化していたので、油圧ジャッキなどを利用し柱を入れ替えることができた。屋根の堆積物なども取り除いた。参加者には大量の苔を池の周りに設置してもらったり、山から倒木を運んでもらったり、池に会うように切つてもらうなどの作業をしていただいた。ヤマセミやアカショウビンの観察場所が整備でき、来年度の取り組みにつなげることになった。

【プログラム】

実施年月日： 令和6年12月15日(日)						
場 所： 四万十町大正地区						
日程：	時間	内容	詳細			
12 15	10:00～12:00	四万十町十和の養魚場へ	アメゴを10匹購入して下道の養魚池に移動			
	12:00～13:00	休憩・昼食				
	13:00～15:00	養魚池の整備	谷の取水口を整備し、湛水開始。養魚池に倒木を追加して、アメゴを放流。			
(備考)						
参加人数：大人 1名 ・ 子供(～17才) 2名 ／ 外部講師 名 ・ スタッフ 2名						
募集地区：高知県内	募集対象： 中学生以上					
募集方法：メール、チラシ配布	参加費等： 無					
マスコミ等での紹介例(あれば)：						
感想：						
＜参加者＞ 野鳥などが降りてくる豊かな湿地の再生という面では良い体験になったと思う。水生昆虫の類が発生する池は良い池であるため、環境維持においてよい働きをもってくれると思う。						
＜スタッフ＞とりあえず10匹のアメゴを分けて頂き、試験養殖を開始できた。沢には、豊富な水があり枯渇の心配がないことがわかった。倒木を追加して、アメゴのすみかを仕上げることができた。連日の作業となり、気温も上がりず、参加者が少なかったのが残念であったが、14日に十分な準備ができたのでよかったです。在来種のアメゴ復活の準備ができたことも成果であった。						

活動報告書

番号

28

【団体の概要】

事業名: 和紙の遊び場！出張 Washi Park ~高知の豊かな山が育んだ土佐和紙~

団体名: Washi+

【活動の概要】

目的: 「和紙の遊び場！出張 Washi Park ~高知の豊かな山が育んだ土佐和紙~」は、土佐和紙の魅力とその原材料を育む高知の山の豊かさを広く多くの人に届けるためのイベントです。土佐和紙の原料がどのような場所で育っているのか、なぜ高知県で楮が沢山作られるようになったのか、分かりやすい説明を入れながら和紙を身近に感じ、五感を使って楽しむことでその可能性や魅力を再発見することを目指す。

内容: 和紙と和紙原料楮を使った様々な「遊び」と「アート」の体験とスタッフとのやりとりを通じて高知県の森や山とそこに住む人々の暮らしについて学ぶ場を提供する。

成果: ・12/8 和紙になじみがある仁淀川流域ではない場所で開催する事で、普段森や山、和紙に関心のない人たちにもアピールする事が出来た。山での楮の手入れや借り入れのボランティアに関心を寄せて下さった方もいた。皆様、開放感のあるお祭りの楽しい雰囲気の中、高知の自然や今の和紙の事について来場前より、少し詳しくなって帰ってくださいました。
 ・12/22 和紙になじみがある流域の為、その原料を育てていた森や山にも関心にとても関心が高く、昔の山での楮やミツマタの栽培や刈り入れや加工作業の様子を沢山教えて頂いた。屋内での開催で寒さが無かったからか、子供たちの滞在時間がとても長く、幼児も長時間興味を持って遊んでいた。
 ・1/12 地元土佐市の手漉き職人さんに参加して頂いたことで、より山の恵みと和紙を身近に感じて頂けた。参加者と一緒に物を作ったり飲んだりすることで、リラックスした中で山や自然や和紙について理解も深めることが出来た。集客力があり、県外からも来る方も多い高岡蚤の市の中で開催する事により、普段森や山に関心のない人たちにもアピールする事が出来た。

【プログラム】

実施年月日: 令和6年12月8日(日)

場所: 高知県香南市赤岡横町商店街

日程:	時間	内容	詳細
12 8	10:00～15:00	和紙と楮を使用したあそび 場の提供	楮プール、楮タワー等の和紙に関するおもちゃで遊べる場の提供 高知の山と土佐和紙に関するクイズと説明の提供

(備考)

参加人数: 大人 30 名 ・ 子供(～17才) 35 名 / 外部講師 0 名 ・ スタッフ 3 名

募集地区: 高知県赤岡町

募集対象: あそびや森と山や和紙に興味がある全ての人

募集方法: 近隣の施設へのチラシ配布・関係機関のSNS

参加費等: 無

マスコミ等での紹介例(あれば): 冬の夏祭り・赤レンガ商家関連のSNSで紹介

感想:

〈参加者〉初めて楮であそんだ！触る事も貴重な体験、出来て良かった。またイベントがあれば参加したい。子供たちに色々な体験をさせたいからよかったです。子供が興味を持ったようで意外と長く遊んでいた、こんなに集中力があったとは知らなかった。楮プールの匂いが草みたい。

〈スタッフ〉お祭り自体の人出がかなり多く、沢山の方に参加して頂けた。風が強くいろんなものが飛んで行ってしまった。普段山や和紙に興味がない方にも足を止めて貰えたように感じた。寒い中でも話を聞いてくれて遊んで行ってくれたのがうれしい。

【プログラム】

実施年月日： 令和6年12月22日(日)					
場 所： すこやかセンター伊野(吾川郡いの町1400)					
日程：	時間	内容	詳細		
12 22	10:00～13:00	和紙と楮を使用したあそび 場の提供	楮プール、楮タワー等の和紙に関するおもちゃで 遊べる場の提供 高知の山と土佐和紙に関するクイズと説明の提 供		
(備考)					
参加人数： 大人 30 名 ・ 子供(～17才) 20 名 ／ 外部講師 0 名 ・ スタッフ 4 名					
募集地区：いの町		募集対象： あそびや森と山や和紙に興味がある全 ての人			
募集方法：近隣の施設へのチラシ配布・関係機関 のSNS		参加費等： 無			
マスコミ等での紹介例(あれば)：					
感想：					
<参加者>沢山遊べるものがあり通りかかって興味を持った。和紙の原料であそべて楽しかった。見たり触 れたりあそびの中で出来るのはとても良い。2歳でも楽しめた。子供向けの催しだったので子供(3歳)が遊 んでいた。小さい子供に集中力がこんなにあるとは思わなかった。山の畠の手入れから加工作業まで、こ んなに手間がかかる事を見らなかつた。紙をこれから大事に使う。					
<スタッフ>屋内でスタッフ数も十分にあったので来場された方に丁寧に説明が出来た。地元密着系のイベン トであった為、楮の事を知っている人が多く話が弾んだ。福祉系のイベントなので幅広い年代が来てくれた。屋内 で風が無かったので楮が飛んでいかず良かった。滞在時間が屋外に比べて長い。					

【プログラム】

実施年月日： 令和7年1月12日(日)					
場 所： 高知県土佐市高岡町商店街					
日程：	時間	内容	詳細		
1 12	10:00～15:00	和紙と楮を使用したあそび 場の提供 土佐和紙職人によるワーク ショップ 楮の蒸剥ぎ体験 楮茶の提供	楮プール、楮タワー等の和紙に関するおもちゃで 遊べる場の提供 土佐ヒノキと土佐和紙を使用したサシェ作り 蒸した楮を剥ぐ体験の提供 高知で育った楮(和紙原料)のみで出来たお茶の 提供		
(備考)					
参加人数： 大人 35 名 ・ 子供(～17才) 30 名 ／ 外部講師 1名 ・ スタッフ 5 名					
募集地区：土佐市		募集対象： あそびや森と山や和紙に興味がある全 ての人			
募集方法：近隣の施設へのチラシ配布・関係機関 のSNS		参加費等： 無			
マスコミ等での紹介例(あれば)：高岡蚤の市SNSで実施の様子を掲載					
感想：					
<参加者>ヒノキチップの森のサシェが自然を感じられてよかったです。和紙の種類がこんなにあるのを知らなかつた。職人さんに直接話を聞いて嬉しい。インスタで見てきた。					
書道をやっているので和紙に興味があるので立ち寄ってみた。昔祖父の手伝いで楮をの皮を剥いでいたの を思い出した、吾北の山奥だった、身近に山の自然があった。					
いつも来る蚤の市ですがここのおかげで滞在時間が伸びた。子供がスタッフと話して楽しそうだった。					
楮の皮がつるんとむけて面白い、体験できてよかったです。今の時期だと寒いから大変。					
意外とおいしい。薬草茶より飲みやすい。いいアイデア、食べたりしても大丈夫なんだ。(楮茶を飲んで)					

「スタッフ」ちょうど蒸剥ぎの時期で蒸したばかりの楮が用意できたので、急遽蒸剥ぎ体験もすることにしたが「珍しい」「むかしやりよった！」と沢山の人が興味を持ってくれた。
近隣の施設や幼稚園にもチラシを配布していたのでそれを見てきてくださった親子連れの方も多かった。
子供達は和紙や楮であそび、保護者の方はワークショップ等、色々興味のあることを体験してもらえてよかったです。ワークショップのサシェのヒノキも高知産の為、作る時に自然と山や森の話に繋げやすかったです。
当初は屋根のある駐車場の中をメインに配置しようとしたが、屋根のある場所だと奥まって見えづらく何をやっているか分かり辛い様子だったので、楮プール等も前面に出したが、風が吹く寒い日で両サイドに風を遮る物も無かったので、飛んで周囲に迷惑をかけないように楮プールの楮は少し減らして対応した。